

令和3年度目標管理シート

【教育部長 田中 宏幸】

市の目標	将来都市像「みどり にぎわい いろどり豊かに 笑顔つながる 東村山」の実現			
部の目標	学校教育・社会教育におけるデジタル化の促進と市民の主体的な生涯学習の機会の創出			
部の概要	人員	118人	予算規模	2,532,372千円

【具体的な取り組み】

No.	課名	総計・ 行革・ その他	項 目	目 標	評価	成果又は課題
1	教育政策 課	行革	学校施設の情報インフラの地域開放	学校情報インフラのネットワーク上のセキュリティ、施設面での安全管理の検討を行い、課題を整理する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ●学校施設内での安全管理上の課題について防災防犯課と協議をしたが、課題の整理までは至らなかった。
2	教育政策 課	行革	学校プールの機能集約化	学校プールの機能集約化に向け、先進事例の研究を行い、実証事業に向けた企画を立案する。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年10月に市民スポーツセンターにて第五中学校1年生6クラスが2単位時間ずつ実証実験として授業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者、教員向けアンケートを実施し、参加した生徒の約98%、当日見学した生徒の約86%が次年度以降も市民スポーツセンターで水泳授業を受けたいとの回答だった。 ●令和4年度の試行実施として、第三中学校及び第五中学校の水泳授業を民間プール事業者及び市民スポーツセンターにて実施することを決定した。 ●学校、事業者との定期的なミーティングを開催し、事業実施に向けた調整を行った。

No.	課名	総計・ 行革・ その他	項目	目標	評価	成果又は課題
3	教育政策課	行革	学校給食のあり方検討	学校給食のあり方検討会の設置に向けた課題を抽出し、検討事項や構成員等を整理する。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●学校給食のあり方として、令和4年度は老朽化への対応が喫緊の課題である小学校給食調理室への対応が必要であることから、「（仮称）東村山市小学校給食あり方検討会」を設置し、持続可能で安定した小学校給食の提供方法について検討することを決定した。 ・2週間に1回程度の関係所管とのミーティングを行い、課題を抽出し、目的を整理することで焦点を絞った検討を行うことを決定した。 ●小学校給食あり方検討支援業務のプロポーザルを公告し、事業者募集を行った。 ・他自治体の事例を収集し、プロポーザルの実施要領等を作成した。
4	学務課	総計	小学校屋内運動場空調設備設置事業	小学校7校の屋内運動場にリース方式による空調設備設置を完了させる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年11月に小学校7校の屋内運動場に空調設置が完了し、教育環境の充実を図ることができた。 ・令和3年6月に入札を行い、夏休みを中心に工事を行い、同年11月に空調設置が完了し、12月からリースを開始した。
5	学務課	総計	小中学校LED化事業	小中学校全校の校舎及び体育館（アリーナ部分除く）についてリース方式によりLED化を完了させる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年9月に小中学校全校の校舎及び体育館（アリーナ部分除く）のLED化が完了し、教育環境の充実を図ることができた。 ・令和3年4月に入札を行い、放課後や休日などを利用し工事を行い、同年9月にLED化が完了し、10月からリースを開始した。
6	学務課	総計	小中学校トイレ洋式化事業	小学校4校、中学校1校のトイレについて和式便器を洋式便器に改修する等の設計を完了させる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年11月に小学校4校、中学校1校のトイレ改修工事の設計委託が完了した。 ・令和3年4月に入札を行い、トイレ改修工事についての設計委託が同年11月に完了し、令和4年度の小中学校トイレ改修工事に向けた業務が完了した。

No.	課名	総計・ 行革・ その他	項目	目標	評価	成果又は課題
7	学務課	総計	特別支援学級開設事業	第四中学校の既存教室について特別支援学級を開設するための改修工事を完了させる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年10月に第四中学校の既存教室について特別支援学級開設に向けた工事が完了し、教育環境の充実を図ることができた。 ・令和3年6月に入札を行い、夏休みを中心に工事を行い、同年10月に工事が完了し、令和4年度の特別支援学級開設に向けた整備が完了した。
8	学務課	総計	通学路防犯カメラ設置事業	中学校3校の通学路に、1校につき5台の防犯カメラを設置する。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●第二、第四、第五中学校の通学路に、各校5台の防犯カメラを設置した。 ・学校、PTA、警察への意見聴取の上、設置箇所を決定し、令和4年3月に設置完了した。
9	学務課	総計	小中学校読書活動支援事業	児童生徒の読書の習慣化及び基礎学力向上のため、学校図書館の蔵書数の増加を図る。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年2月末時点で、市民からの寄付金を活用し、約2,300冊を購入、通常の購入分として13,096冊を購入した。 ・破損等により破棄する図書もあるものの、令和2年度の購入冊数が10,755冊であることから、蔵書の増はなされている。 ・選書においては、図書検索ツールを活用し、質を担保しつつ購入した。
10	学務課	総計	安全施設等維持管理システムの導入	市民等の要望の処理経過や管理施設等の情報を管理できる安全施設等維持管理システムを導入する。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●安全施設等維持管理システムを導入し、全小中学校の学区域と通学路をシステムに反映した。 ・児童確認員と通学路防犯カメラ、市民要望についてデータ入力できる仕様を確立した。都度情報を更新できる体制を整えた。
11	指導課	総計	東村山スマートスクール推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用した授業実践事例を教員同士が共有する仕組みづくりを行う。 ・教員のICT活用指導力に応じた研修を実施する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●GIGAスクールリーダー研修において作成した、授業実践事例や効果的な校務軽減事例を教育委員会Googleクラスルームで共有し活用を図ることができた。 ●依然として集合型の研修が実施できない状況が継続することから、8月の全教員を対象にした悉皆研修ではオンデマンドによる動画配信を実施し、管理職研修等複数の研修ではビデオ会議システムによるオンライン研修を実施した。

No.	課名	総計・ 行革・ その他	項目	目標	評価	成果又は課題
12	指導課	総計	教職員の働き方改革推進事業	小中学校に導入した校務支援システムを用いた勤怠状況の把握を通して、適正な校務分掌の進行管理を実施する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校における校務支援システムを導入し、成績管理を先行して実施することにより、市内統一した成績処理の流れを構築し、教員の業務負担を軽減することができた。 ●教員の勤怠管理システムについては、一斉配信システムにおける見守り機能を活用した勤怠状況の把握を実現するよう調整を図り、モデル校による成果や課題を踏まえ、令和4年6月より全校展開を実施する。
13	指導課	総計	小中学校読書活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の読書傾向や学校図書館専任司書活用状況を把握するため、読書アンケート調査を実施する。 ・アンケート結果を基に、各学校における読書週間の取り組みを実施する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急事態宣言下における学校の教育活動に対する影響を踏まえ、読書アンケート調査を令和3年10月に実施した。 ●中学生の不読率が東京都平均を5.6ポイント下回り、読書に親しんでいる状況が確認され、各学校で取り組んでいる読書活動に一定の成果が現れた。 ●小学校では学校図書館専任司書を活用した読み聞かせや読書ビンゴ等を、中学校では生徒の自治的な活動を重視した生徒会や図書委員会によるビブリオバトルや出前図書館等を実施し、特色ある取り組みを充実させた。
14	子ども・ 教育支援 課	総計	特別支援学級開設事業	特別な教育的ニーズに応じた多様な教育の場の充実を図るために、令和4年4月の第四中学校への開級に向け、学校と協議を行いながら準備を進める。また、保護者に対しても丁寧に周知を図る。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年4月、特別支援学級を第四中学校に開設した。 ・開設準備委員会を令和3年6月、10月、令和4年2月（書面報告）と3回開催し、開級に向けた検討を行い、スムーズな開設に繋がった。 ・令和3年5月と9月に保護者向けチラシを全中学生及び小学校6年生に向けて配付し、丁寧な情報共有に努めた。

No.	課名	総計・ 行革・ その他	項目	目標	評価	成果又は課題
15	子ども・ 教育支援 課	総計	不登校児童・生徒支援事業	本市における不登校の状況及びその対応について分析し、各小・中学校、指導課と連携して、訪問支援員やスクールソーシャルワーカー、不登校対策委員会等を通じた支援を行う。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●不登校児童・生徒個人支援票を集計・分析のしやすい様式に刷新し、スクールソーシャルワーカー等による相談・支援がスタートするよう取り組むことができた。 ●訪問支援員連絡会を開催し、各校での取り組みを訪問支援員間で共有し、効果的な支援の一助とした。 ●不登校対策委員会に継続的に参加し、関係機関間の情報交換や有効活用の方法等の情報提供を進めることができた。 ●スクールソーシャルワーカー、希望学級指導員、子ども相談員も参加する各種研修や講演会を市民団体と協働で企画・実施し、各事業担当者の専門性の向上を図ることができた。
16	社会教育 課	総計	青少年健全育成事業	青少年委員及び青少年対策地区委員会等の地域で活動する諸団体と協議を行い、体験活動事業の実施に向けた企画を立案する。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●地域教育の1つとしてコロナ禍における児童生徒の健全育成を推進するため、昨年度からの検討経過や定期的な委員長会議での地区委員会間の情報共有を基に各地区委員会で実施内容等を検討し、該当校との協議を図ることができた。 <ul style="list-style-type: none"> ・2つの地区委員会において感染症防止対策を講じて「子どもまつり」を実施した。 令和3年11月6日（日）・11月28日（日） ・1つの地区委員会は、開催時期を令和4年1月15日、22日、29日の3日間で「子どもまつり」を企画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止となった。 ●青少年委員主催事業をコロナ禍においても安全・安心に実施するため、昨年度より毎月の定例会議において協議・検討を重ね令和3年12月に活動におけるガイドラインを策定した。 <ul style="list-style-type: none"> ・策定したガイドラインに基づき、従来の集合型の事業とは別にオンライン配信・参加型の事業として、令和4年2月20日に「輝け！東村山っ子育成塾-2021特別版-」を実施した。 ●2学期より小学校5校及び中学校3校で土曜開放事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染対策ガイドラインを各学校の土曜開放推進団体へ周知し、情報共有を図った。 ・各学校では、感染状況を鑑み、順次活動を開始し、スポーツ、文化活動等を実施した。

No.	課名	総計・ 行革・ その他	項 目	目 標	評価	成果又は課題
17	社会教育 課	総計	市民文化祭事業	市民の誰もが文化・芸能に親しみ参加できる場の創出を図るため、市民文化祭を開催する。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年10月22日から11月7日までの期間、市内各公民館にて延べ9日間実施し、展示・集会・ホール部門を合わせて95団体が参加した。 ・市民文化祭役員会にて、感染症防止対策について協議を重ねた。各種会議及びホームページ、ポスター等で参加団体及び来場者に対策の内容を事前周知し、開催当日、実行委員会と協働して検温や消毒などを円滑に行い、大きな混乱もなく実施することができた。
18	社会教育 課	総計	東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした市民スポーツの推進	東村山市文化協会と共催で「東村山文化・芸能フェスティバル」を開催し、多くの市民の方々に文化・芸術の魅力を伝えるとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成を図る。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●東村山市文化協会と共催し、令和3年7月2日、3日に作品の展示、7月3日にホールにおいて日本文化と中国文化の演舞、文化協会加盟団体による文化活動の成果を披露し、各部門を合わせて、472名が来場した。 ・文化協会役員代表者と、毎月、準備委員会及び各種打ち合わせを実施し、感染症対策について協議を重ねた。 ・各種会議及びホームページ、ポスター等で参加団体及び来場者に対策の内容を事前周知し、開催当日、文化協会役員と協働して検温や消毒などを円滑に行い、大きな混乱もなく実施することができた。

No.	課名	総計・ 行革・ その他	項 目	目 標	評価	成果又は課題
19	社会教育 課	行革	白州山の家の管理・運営の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 施設再生に向けたサービスの論点抽出を行う。 管理・運営方法等、青少年健全育成施設としてのあり方について、これまでの課題を整理のうえ、今後の方向性（案）を作成する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設再生計画に基づき、白州山の家施設の今後の在り方について公共施設マネジメント課と連携し野外体験活動を目的とした、青少年の健全育成施設としての在り方を含め、市民ニーズやこれまでの課題を整理しながらハコモノに捉われないサービス提供の検討を進めた。 ・令和3年5月及び6月に公共施設マネジメント課と協議を行い、同年7月に開催された青少年対策地区委員会委員長会議において当市の公共施設再生計画に基づく「白州山の家」の管理・運営方法の見直し・施設再生の方向性について情報共有を行った。 ●青少年の健全育成を目的とした野外体験活動など、ハコモノに捉われないサービス提供の検討を進めるため、白州山の家施設の賃貸借契約期間内での契約解除を行う場合についての検討を行った。 ・令和3年7月に北杜市管財課と協議を行い、当市の公共施設再生計画に基づく「白州山の家」の管理・運営方法の見直しと施設再生の方向性について情報共有を行った。また、土地の賃貸借契約期間中において協議を行う場合について確認した。 ・令和4年3月に土地の賃貸借契約期間内での契約解除についても一定の合意が得られた。
20	図書館	その他	オリンピック・パラリンピック理解促進	<ul style="list-style-type: none"> 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、各種理解促進事業を行う。 学校でのオリンピック・パラリンピック教育への資料提供等の支援を行う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●オリンピック・パラリンピックの理解促進とレガシーの継承をテーマとした図書展示を全館で実施した。 ・常設展示書架のある中央館は年間5回の展示替えを行い、地区館は各館2～4回の展示を実施した。 ●学校に対しては、オリンピック・パラリンピック関連資料の貸出を行った。 ・夏休み期間には、ワークシートを使った調べ学習事業「調べよう！オリンピック・パラリンピック」（小・中学生対象）を各図書館で実施した。 ・事業周知は市報・ホームページ等のほか、学校を通して対象の児童にチラシを配布した。

No.	課名	総計・ 行革・ その他	項目	目標	評価	成果又は課題
21	公民館	行革	公民館の役割・機能の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育・生涯学習拠点に求められる公民館の役割、機能について整理し、社会教育委員会議に諮問する。 ・地域サービス窓口におけるサービス提供方法の見直しや廃止に向けた検討スケジュールを作成する。 ・市民ニーズや社会状況の変化、サービスの利用しやすさ等を考慮し、サービスの内容や量、集約化等の公共施設再生の取り組み方策適用の方向性（案）を作成する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●公民館の役割、機能を整理するため、公民館の利用者ニーズや今後の施設利用の方向性に関する「公民館利用に関するアンケート」を実施した。 ・今後速やかに、会議の運営やスケジュールなどについて関係所管と調整し、社会教育委員会議での協議を開始する。 ●地域サービス窓口における取り扱い件数等の集計を継続し、窓口での利用状況の変化を把握している。 ●公共施設マネジメント課との打合せを開始したことで、取り組みに関する情報の共有と今後の検討にあたっての役割について確認した。
22	ふるさと 歴史館	総計	下宅部遺跡保存活用事業	<p>国の重要文化財に指定された下宅部遺跡出土品を含む下宅部遺跡の保存を行い、講演会等で周知徹底を図る。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ●出土品保存処理は、線刻付木杭5本保存処理を実施した。 ・縄文時代にウルシの樹液を採取していた証拠となる痕跡を半永久的に残すために、特殊な保存処理を実施した。 ●遺跡企画展は、令和3年10月2日～12月5日までの会期にて開催した。 ・TwitterやYouTube等で展示紹介の情報発信を行い、広く周知した。2,519人来館いただいた。 ●遺跡シンポジウムは、令和3年12月4日に中央公民館で開催した。 ・講師の方と調整を図りつつ、企画・立案、シナリオの作成、進捗状況を常に把握し、タイムスケジュール通りに実施した。当日は155名の参加をいただいた。 ●記念切手作成し頒布開始した。 ・シンポジウム開催にあわせ、デザイン等も立案し、より遺跡を感じられる切手を作成した。 ●考古と自然コラボ講座は5回、こども縄文塾は3回開催した。 ・下宅部遺跡など、文化・歴史を継承するために、コロナ禍であるが人数を絞り開催した。